東邦大学医療センター佐倉病院臨床研修プログラム

放射線専門医育成コース（佐倉）

募集定員

若干名

コースの特徴

近年の CT や MRI、核医学など診断機器の大きな進歩とともに、画像診断の専門家である放射線診断医の需要は急速に高まっています。病変の存在、鑑別、広がりの正確な診断があって初めて、最適な治療方針決定が可能になります。また、Interventional Radiology（IVR）や新しい放射線照射技術によるがん治療など侵襲の少ない治療が進歩し、治療の面でも放射線治療医の役割が大きくなりつつあります。当放射線科では CT、MRI、核医学などの画像診断、IVR 放射線治療を通じて他の診療科との緊密な連携を積極的に推し進めています。各科のカンファレンスに参加し、臨床的な知識を得ることにより、治療方針に深く係わりながら放射線科業務を遂行する研修プログラムを用意しています。後期臨床研修 3 年修了後（卒後 6 年目以降）に日本医学放射線学会放射線科専門医を取得、5 年目（卒後 8 年目以降）に日本医学放射線学会放射線診断専門医・放射線治療専門医取得を目指したプログラムです。また、当科は臨床業務だけではなく、臨床研究にも力をいれています。神経放射線診断学、心臓・腹部放射線診断学、骨軟部放射線診断学に関する臨床研究はもとより、基礎研究にも力を入れています。基礎研究では、興味のあるテーマの研究をじっくりと行い、経験豊富な専門家が綿密な指導を行います。国際学会への参加・発表、英文論文掲載も綿密な指導を行います。

※大森病院、大橋病院での研修も可能です。

研修カリキュラム

１年目

病院名・診療科

東邦大学医療センター佐倉病院放射線科（以下、東邦大学佐倉）

研修期間

1 年

習得内容

放射線診断学全般（頭部・腹部・胸部・骨盤部・骨軟部領域中心とした CT、MRI、核医学、血管造影の基礎)、放射線治療学全般について研修。

２～６年目

病院名・診療科

東邦大学佐倉、および、教育関連病院　※大森病院、大橋病院での研修も可能です。

研修期間

5 年

習得内容

- 神経放射線学、小児放射線学、胸部放射線学、腹部放射線学、骨軟部放射線学、核医学、放射線治療学、IVR（血管内治療）の基礎について研修を行う。様々な分野の専門家が在籍する教育

関連施設においても、実地経験を多く積むための研修を行う。

- 3 年目、日本医学放射線学会放射線科専門医試験を受験。
- 5 年目、日本医学放射線学会放射線診断専門医又は放射線治療専門医を選択し、試験を受験。

日本医学放射線学会専門医の取得

週間予定

週 4.5 日勤務。週間予定表に従い各分野（CT、MRI、核医学、血管造影、血管内治療（IVR）、放射線治療）の研修を行う。以下は、全体共通の日程について付記する。

月曜： 17 時 30 分：呼吸器カンファレンス
19 時：循環器センターカンファレンス、神経内科カンファレンス、消化器カンファレンス
火曜： 8 時 10 分：放射線科カンファレンス
水曜： 7 時 30 分：整形外科カンファレンス
18 時：産婦人科カンファレンス（月 1 回）
木曜： 18 時 30 分：病院 CPC（月 1 回）
その他、国内学会・研究会、国際学会への参加・発表を積極的に随時行います。

教育関連病院・施設

東京都立駒込病院放射線診療科	唐澤　克之　治療部門
東京都健康長寿医療センター放射線科	徳丸　阿耶
国立成育医療センター放射線診療部	野坂　俊介
神奈川県立こども医療センター放射線科	相田　典子
翠明会山王病院放射線科（ＰＥＴ）	内山　勝弘

コースの実績（学位及び専門医等の取得状況等）

東邦大学佐倉病院放射線科は、独自の先進的なプログラムを若い先生方に用意し、放射線専門医取得を確実なものにします。学位に関しては、国内外有数の研究施設と共同研究が多数進行しており、国際学会への参加・発表、英文論文掲載、大学院に所属しながら後期研修を行うことも可能です。
平成 20 年以降すでに 4 人が博士号を、4 人が放射線診断専門医を、2 人が核医学専門医を、1 人が IVR 専門医を取得しています。

コースの指導状況

各分野の専門家が、研修医一人一人を丁寧に指導し、短期間で放射線科医としての知識・資質を身につけることができます。臨床研究にも力を注いでおり、国際学会・国内学会で多数の発表演題が採択されております。

学位・大学院と海外留学について

大学院への積極的な進学をお勧めいたします。臨床実習と臨床・基礎研究のバランスを重視し、若い先生方の柔軟な発想性を最大限に引き出すような研究環境を実現しています。

医局員全員の博士号取得に対しスタッフ全員が積極的に助力を与えます。
博士取得後は、米国・欧州の有名大学（UCSF、Iowa 大学、Brescia 大学など)、研究施設などへの留学ルートがあります。

評価及び修了認定

プログラムは指導責任者と管理運営責任者が常時研修の進行状況を把握し、3 ヶ月毎に評価を行ないます。

認定医・専門医の取得等

学会等名	日本医学放射線学会
資格名	放射線科専門医、放射線診断専門医、放射線治療専門医
資格要件	日本医学放射線学会会員であること
専門資格の概要	

放射線科専門医資格の概要

1. 申請時において、初期臨床研修期間を含め５年以上の臨床経験を有すること。
2. 申請時において、３年以上本学会正会員であること。
3. 専門医受験資格を得るための研修期間は、初期臨床研修期間終了後、総合修練機関または修練機関での３年間以上とする。

放射線診断専門医、放射線治療専門医資格の概要

1. 放射線科専門医資格修得後、2 年間以上学会が認定した修練機関において診断・IVR・核医学を研修したものに対し診断専門医を与え、同様に放射線治療を研修したものに対し治療専門医の受験資格を与える。

※形式的には東邦大学として一括して募集しますが、研修はこの佐倉病院研修プログラムで行います。